

令和4年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの結果について

錦秋の候、保護者のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育のためにご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、4月19日(火)に実施しました、令和4年度全国学力・学習状況調査及び4月22日(金)に実施しました、すくすくウォッチの結果について分析(成果と課題)及び取り組みをご報告させていただきます。

《基本的な考え方》

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的にしています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。
- 学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。

《調査結果の取扱い》

- ◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- ◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

- 学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずはお子さまの良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張って克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。

学力・学習状況調査について

○国語

概要

本校の平均正答率は、全国平均より 5.4 ポイント上回っていた。知識技能がしっかり定着し、ねばり強く問題に取り組めている。内容では、「書くこと」において苦手さが見られた。

特に成果が見られた問題例

2(→)登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉える問題。正答率は全国平均を 15.5 ポイント上回った。普段から物語における登場人物の心情を読み取る活動の経験が生きてきている。

○算数

概要

本校の平均正答率は、全国平均より 3.8 ポイント上回っていた。問題形式別に見ると、記述式の正答率が全国平均よりも 12.7 ポイント高い。基礎的な学習が身に着いている。無回答率はほぼ0%とあきらめずに何か書こうと取り組む姿勢が見られた。

特に成果が見られた問題例

2(4)比例の問題では、正答率は全国平均を 15.9 ポイント上回った。授業でも扱うような問題で、自力解決での力がついてきている。

特に課題が見られた問題例

1(4)その商品が必ず買えるかどうか概算の式を考える問題。思考力・判断力・表現力の選択形式問題。切り上げ、切り捨て、四捨五入について応用ができていない。

3(2)表から条件に合った項目を選択する問題。話し合いの決め方を多数決と勘違いしている児童が多かった。文章の読み取りの部分に課題がある。

○理科

概要

本校の平均正答率は、全国平均より 8.7 ポイント上回っていた。どの項目でも全国平均を上回ったが、特に知識・技能の観点では、全国平均より 13.0 ポイント高い。基礎的な力が十分に身に着いている。

特に成果が見られた問題例

2(1)メスシリンダーの名称を答える問題。知識・技能の観点における 5 年生の内容からの出題。全国平均より 23.9 ポイント高い。実体験を通して用具の名称をしっかりと覚えられている。

特に課題が見られた問題例

1(5)図表から項目を選択する問題。思考力・判断力・表現力の観点における 3 年生からの出題。問題文にある解答の条件に沿って答えられていない。

○すくすくウォッチ(教科横断的な問題わくわく問題)について

概要

本校の正答率は、府平均より 4.4 ポイント上回っていた。資料を正しく読み取り、論理的に考え、工夫して相手に伝える観点で成果が上がっている。一方で、新たな課題を考えるとところでは正答率が低くなっている。

特に成果が見られた問題例

2(3)複数の資料から読み取ったことを答える記述問題。府平均より 9.7 ポイント高い。

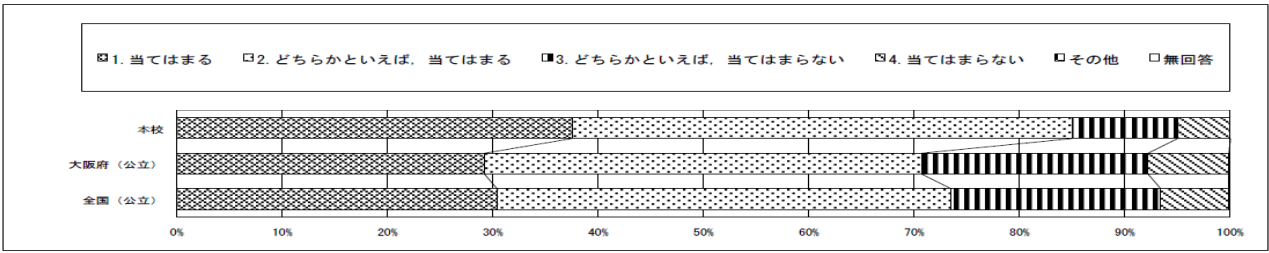
特に課題が見られた問題例

3(1)情報を整理して短くまとめる記述問題。条件を十分に満たせないでいる。

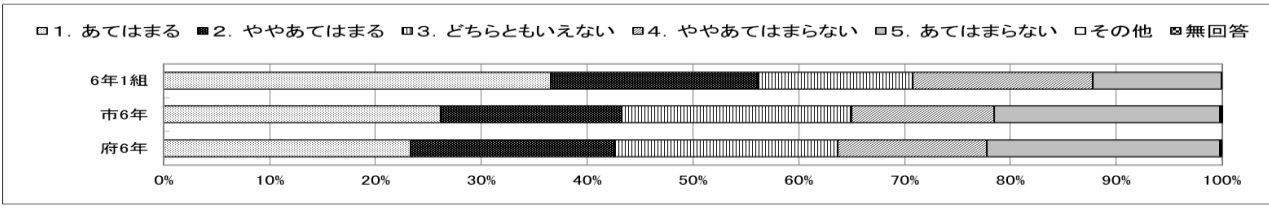
○児童アンケート(学力・学習状況調査・すくすくウォッチ)

◎特に成果が見られたアンケート項目例

質問番号	質問事項										
(1 7)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
本校	37.5	47.5	10.0	5.0						0.0	0.0
大阪府（公立）	29.2	41.5	21.5	7.7						0.0	0.1
全国（公立）	30.4	43.1	19.9	6.5						0.0	0.1

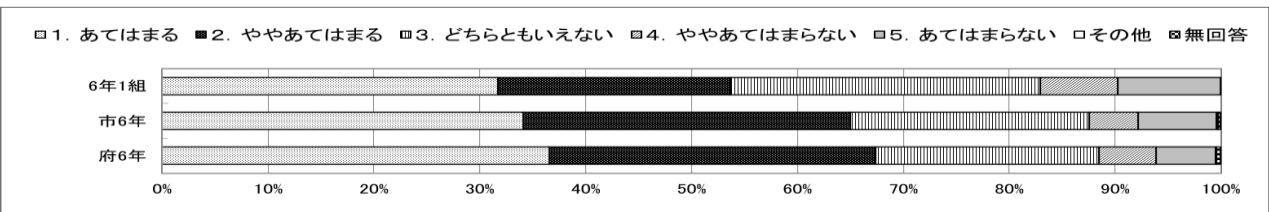


質問番号	質問事項													児童アンケート番号
55	自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強をしている(宿題は除く)													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
6年1組	36.6	19.5	14.6	17.1	12.2	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市6年	26.2	17.1	21.7	13.5	21.3	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1
府6年	23.3	19.3	21.1	14.1	22.0	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.2

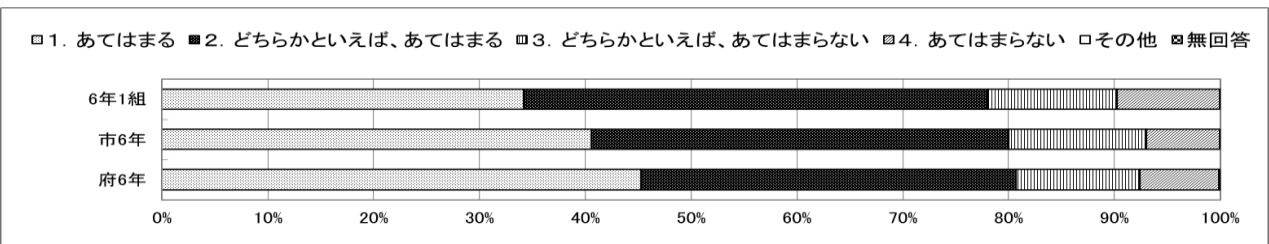


▲特に課題が見られたアンケート項目例

質問番号	質問事項													児童アンケート番号
58	課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
6年1組	31.7	22.0	29.3	7.3	9.8	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市6年	34.1	30.8	22.6	4.6	7.4	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.3
府6年	36.5	30.8	21.1	5.4	5.6	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.4



質問番号	質問事項														児童アンケート番号
1	「自分にはよいところがある」と思う														
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答	
6年1組	34.1	43.9	12.2	9.8	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	
市6年	40.6	39.4	13.0	7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0	
府6年	45.3	35.5	11.7	7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	0.1	



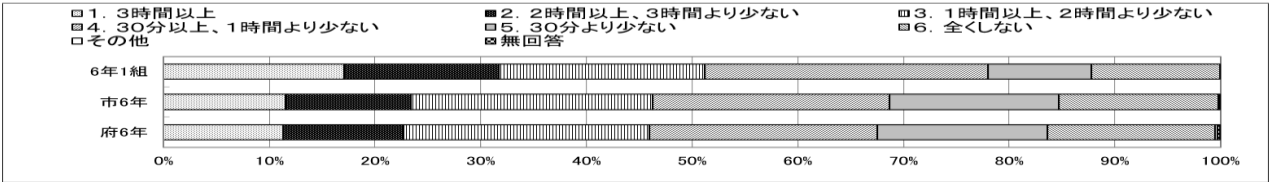
児童アンケートについて

- 全体的に肯定的な意見が多かった。
- 学テ(17)では、普段から話し合い活動を多く取り入れることで、意見交換する課題に楽しく取り組んでいるのが分かる。すくすく(55)では、学校全体で進めている自主学習の取り組みの成果が見られる。苦手なことに取り組む児童、好きなことにとことん取り組む児童と様々であるが、宿題以外に自分で決めて取り組む児童が増えてきている。
- 一方、すくすく(58)では、課題に対して柔軟に対応する力が弱いことが分かる。根気強く取り組む中で、色々な方法で課題解決に向かわせたい。
- 南花台中学校区の子どものたちの課題の1つとして、自尊感情の低さが特徴としてあげられてきた。以前府よりは低い結果となったが、取り組みを積み重ね昨年度より肯定的な意見は確実に増えてきている。
- ・自分にはよいところがあると思う。 72.5%→78.0%
- ・むずかしいことがあってもあきらめない 47.5%→65.9%
- ・何事にも一生けんめい努力する 47.5%→58.6% （※肯定的な意見 R3→R4）

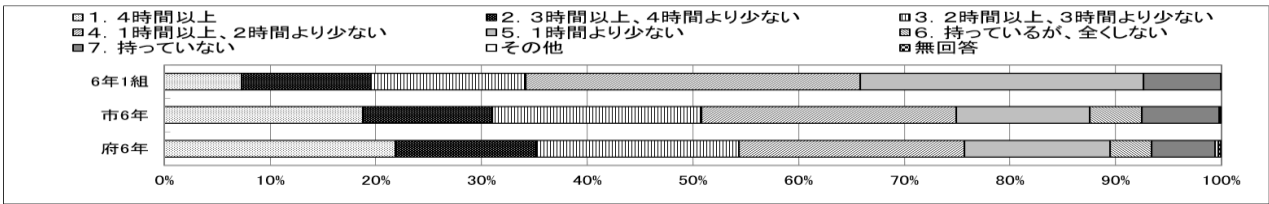
- また、家庭生活に関わる部分では府と比べ肯定的な意見の割合が高かった。家庭でしっかり支えられて生活できていることが分かった。
- ・ふだん1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強しますか。
- ・ふだん1日に、およそどれくらいの時間、学習以外にスマホやタブレット等を使っていますか。
- ・家の人と、その日の出来事について話をしている。
- ・家の中にホッとする場所がある。(はい100%)

参考資料

質問番号	質問事項													数値アンケート番号
67	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、学校の授業や宿題以外に、およそどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
6年1組	17.1	14.6	19.5	26.8	9.8	12.2	—	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市6年	11.5	11.9	22.9	22.4	16.0	15.1	—	—	—	—	—	—	0.1	0.1
府6年	11.3	11.4	23.3	21.5	16.1	15.9	—	—	—	—	—	—	0.2	0.3



質問番号	質問事項													数値アンケート番号
68	ふだん(月曜日から金曜日)1日に、およそどれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNS等)にスマートフォンやタブレット等を使っていますか													
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
6年1組	7.3	12.2	14.6	31.7	26.8	0.0	7.3	—	—	—	—	—	0.0	0.0
市6年	18.8	12.2	19.8	24.1	12.7	4.9	7.3	—	—	—	—	—	0.1	0.1
府6年	21.9	13.3	19.2	21.4	13.8	3.9	6.0	—	—	—	—	—	0.3	0.3



学校が重点的に取り組んでいくこと

以上のような分析をふまえ、以下のような取組みを進めていきます。

○学ぶ意欲をはぐくむ授業づくり

- ・友だちと意見を交流して考えを深める授業。
- ・条件に沿ってまとめて記述する練習。(要約、作文、ふりかえりなど)
- ・問題文を読み取る工夫。(文や図表などの大事なところに印)
- ・算数科においては、見通し、検算を大事にしていく。
- ・実生活で活かせる力を意識した授業づくり。

○自己肯定感と自己有用感を高める取り組み

- ①「自らを意欲的に学ぶ力の育成」
 - ・タブレットを活用した授業の研究を進めます
 - ・自主学習の推奨と子どもの評価活動により意欲を喚起します。
- ②リーダーシップの育成
 - ・わくわくまつり等、児童が主体的に企画・運営できる行事を行います。
 - ・異学年集団を活用してのリーダーシップの育成に努めます。
- ③他者への貢献力の育成
 - ・高学年の児童による下級性への貢献の機会を増やしていきます。
 - ・地域の方の協力への感謝と交流の機会を増やしていきます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- 工夫しながら問題に取り組もう。

問題を読むときには、大切なことを落とさないように印をつけながら読むようにしましょう。答えがどれくらいになるか見通しを持ちましょう。また、ケアレスミスが多いので、見直しをして確かめましょう。
- 積極的に物事に取り組もう。

日々の授業や行事などに自分から取り組むことで力や自信がついていきます。失敗は次の課題への解決のヒントとなります。失敗を恐れず、今しかできない経験をたくさん積んでいってください。
- 人とコミュニケーションをとろう。

自分の思っていることは言葉で表し、人の意見や話は最後までしっかり聞きましょう。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

- 基本的な生活習慣
 - 子どもたちが、朝ごはんや睡眠時間、学習時間など家庭での基本的な生活習慣を守れるよう引き続きご協力お願いします。
- たくさん褒めて認めてあげてください。

家で褒めてもらっている子どもたちが多くいました。引き続き学習面の結果だけでなく、学習の過程や生活の中でもたくさん褒めてあげてください。
- 一緒に過ごす時間を大事にしてください。

家の人と一緒に遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりしている子どもも多くいました。家が安心できる場所であることで、子どもたちは学校や社会で様々なことに思いっきり挑戦していくことができます。日頃からのサポートありがとうございます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。